

建築士

HIROSHIMA



2022年3月28日(月)、広島県民文化センター多目的ホールにおいて、(公社)広島県建築士会 令和3年度「公開まちづくりセミナー」を開催しました。

今回の「公開まちづくりセミナー」は、講師に建築家の妹島和世さんをお招きして、「環境と建築」をテーマにお話いただきました。当日は、約170名の方にご参加いただきましたが、会員よりも一般の方からの申込が多くあり、妹島さんの知名度の高さがうかがえました。

講演では、金沢21世紀美術館以降に手掛けられた多くの作品(Rolax ラーニングセンターやルーヴル・ランス、グレイス・ファームズ、現在実施設計中のプリアンデザイン&

イベントセンター、これから工事がはじまる新香川県立体育館、今年度完成予定のシドニー・モダン・プロジェクトなどなど)について、どのような設計条件だったのか、設計する際にどのようなことを考えたのかといったことを、分かりやすくお話いただきました。講演のあとには質疑応答の時間も設けていただき、一人一人の質問に対して丁寧に答えておられたのが印象的でした。

新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB開催とする講演会が多い中で、妹島さんの生の声を聞く機会が得られたのはとても貴重だったと思います。



事業委員会として2年超しで実現した妹島先生の講演会。実作や計画中の案件を沢山のスライドで説明される妹島先生の笑顔がとても印象的でした。また、講演会後の懇親会では、竣工後のグレイス・ファームズでのエピソードやご両親が中国地方のご出身だとか一講演会では聞けなかったエピソードも伺えました。世界で認められた女性建築家の懐の広さを実感、建築女子の刺激となったと思います。懇親会での記念ショットは私の宝物です。(神岡千春)



建築士 HIROSHIMA No.186 令和4年7月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 井本 健一
編集人 広報委員長 神岡 千春



表紙写真について

尾道・旗竿状の家

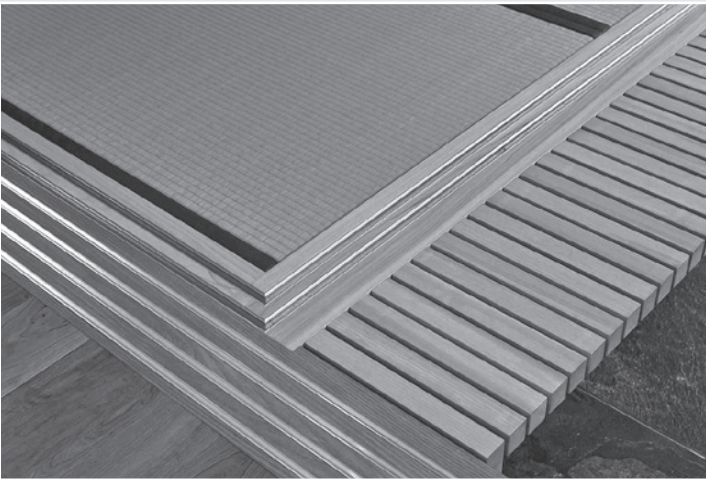
- 設 計 監 理／株式会社濱田昌範建築設計事務所
- 施 工／株式会社坂本工務店
- 所 在 地／尾道市高須町
- 用 途／住宅
- 構 造 規 模／木造2階建て
- 敷 地 面 積／149.36㎡
- 建 築 面 積／81.51㎡
- 延 べ 面 積／102.00㎡
- 竣 工 日／2022年2月

親世帯を囲うように旗竿状に建つ子世帯住宅です。将来を見据えて両世帯の関係性を再構築し隣に建てるからこそその工夫を凝らした住まいになっています。

中庭デッキを介して両世帯を行き来出来る動線や新築の子世帯にはあえて子供室を設けず、施主自ら育った親世帯にある子供室をそのまま継承し子供(孫)達が巣立った後の夫婦二人の生活を重視したコンパクトな住まいになっています。

網代天井の畳コーナーや十和田石を敷いた浴室、瀬戸漆喰の壁など、自然素材を多用し落ち着いたある現代の和の空間を目指しました。

親と子と孫、三世代お互いの生活に程よい距離を保ちながら二つの世帯が寄り添うことで得られる様々な価値がここでの暮らしをより豊かなものにしてくれることを願っています。



CONTENTS

表紙写真について	2	定時総会	6
会長ごあいさつ	3	会員の皆さんから ～1～	8
令和4年度 中四国ブロック大会(高知大会) 報告	4	賛助会員紹介	10
CPD 認定プログラム(7～8月の広島県内実施分)	6	事業委員会 令和3年度「公開まちづくりセミナー」「環境と建築」報告	12

ごあいさつ



コロナ発生から早2年半、まだ終息の兆しはありませんが、感染対策を徹底しつつ「with コロナ」を実践しようとする気運が社会的にも醸成されつつあることも感じ取れます。

この2年間、総会のご案内においては、できるだけ委任状の活用をお願いし、懇親会の開催も自粛させていただきました。今年度の定時総会は、3年ぶりに通常のご案内をさせていただき、懇親会もマスク会食等、感染対策を徹底することで実施する決断をいたしました。

かなり厳しい制約にもかかわらず、ご出席の皆様には趣旨をご理解いただきご協力いただきましたこと感謝申し上げます。県内の会員が相集い、意見を交わし、懇親の場を共有することは、建築士会活動の中でも、大変有意義でかつ、会員の皆様も楽しみにしておられる行事でございますが、制約のある中、皆様のご協力により安全に楽しく開催できたのではないかと考えております。

令和3年度も会員の親睦事業は中止となりましたが、開催実施が心配された、建築士の試験や各種定期講習、講演会等も、一部の延期を除き、コロナ対策に万全を期し、ほぼ当初の予定通り実施することができました。本年度、広島県建築士会は創立70周年の節目を迎えることとなりますが、三つの課題に取り組んで参ります。ひとつは会の魅力を引き出す企画、二つは会員数減少等の会の諸課題に対応する、三つは会としての地域貢献、社会的役割を果たす、この三点であります。諸活動を通じて、より魅力ある広島県建築士会を目指します。

ところで、昨年度は広島での55年ぶりの開催となる建築士会全国大会広島大会が、コロナ禍により東京でのWEBを主とした開催という苦渋の決断をいたしました。会員の皆様には広島での開催を楽しみにされておられた

(公社) 広島県建築士会 会長
井本 健一

と思いますが、開催に向け3年余り実行委員を初め会員一丸となって準備を進めてきたことは、会員の結束を含め、士会活動が活性化されたのではないかと感じております。

今年度から来年度にかけて、広島士会の創立70周年記念事業を実施いたしますが、通常事業と併せ今年度は次の事業に取り組んで参ります。

1. 省エネ住宅・建築物の整備に向けた体制整備事業
本年の省エネ講習は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し複数回の対面講習になる予定。
2. 法定講習の実施
建築士定期講習を10月～3月まで7回、監理技術者講習を4月～3月まで12回実施。
3. 既存住宅インスペクション推進
既存住宅状況調査技術者講習は新規及び更新講習を実施。6月～3月まで対面、オンライン共7回。また、空き家活用推進チームへ会員を専門家として派遣。
4. ドローン、BIM等新たなニーズに対応した講習の実施
ドローン講習を6月～3月まで5回程度、BIMの講習を9月～3月まで2回程度実施。
5. 建築行政(広島県)への協力
判定士として広島県の認定を受ける要件となる被災建築物応急危険度判定士講習会の実施、行政と関係団体が協力して活動するひろしま住まいづくり支援ネットワークへの参画及び「たてものがたり」フェスタ実行委員会への協力。
6. 創立70周年記念事業の実施
今年度の70周年事業として公開まちづくりセミナーを開催。

広島県建築士会の各事業につきましては、今後もホームページや会報誌をご覧ください是非活動にご参加ください。

令和4年度 青年・女性建築士の集い中四国ブロック高知大会

【ユーモアを描け!!】

青年委員長 三谷 隆之

女性委員長 倉田 まゆみ

令和4年度 青年・女性建築士の集い中四国ブロック高知大会が、6月11日（土）、6月12日（日）の2日間、高知県立県民文化ホールにて開催されました。

今までにないコロナ禍と向き合い、この2年間は中止せざるを得ない状況でしたが、慎重な対策の下、3年ぶりに無事開催されたことは皆さんのパワーのおかげでしょう！

現地参加230名＋WEB参加約30名＝約260名の参加とのことでした。

高知県建築士会の方は最後までご心配の中新しい導きを作っていただき、柔軟に対応していけば可能であることを今回証明でき、感謝と尊敬の思いでいっぱいです。

本大会趣旨は【ユーモア】であり、建築とその他の要素を掛け合わせ未来へと進む正にタイムリーな言葉でした。常に刺激し合い、勉強していく心構えを持たねばならないと思いました。

-

■6月11日（土）

 - 開会式・地域実践活動報告
 - 分科会A 建築びと×食
 - 分科会B 建築びと×アウトドア
 - 分科会C 建築びと×組子
 - 講評、閉会式
 - 大懇親会

.....

.....

■6月12日（日）

 - 中四国ブロック青年建築士協議会、中四国ブロック女性建築士協議会
 - 中四国ブロック青年・女性建築士合同理事会
 - エクスカーシオン
 - Aコース「土佐の建築探訪」
 - Bコース「ぶらっと赤岡」
 - Cコース「高知城散策」

.....

地域実践活動報告会

女性委員長 倉田 まゆみ

.....

メインイベントは中四国9県の代表者が、日頃の活動や成果を発表する地域実践活動報告会です。広島県は、テーマを～New Normal～として、2019～2021年の3年間の活動報告でした。子どもたちへの「建築職業体験」や「出前講座」、「国際交流フェスティバル」「見学会」等、色々な興味深い活動により将来の建築士の卵である子どもや学生、会員達とコミュニケーションをとりながら未来を作っています。制作中の「建築士人生ゲーム」も審査員に興味を持っていただけていました。完成が楽しみです。

全県発表後、厳正な審査の結果、最優秀賞は愛媛県の～



広島県代表 正木宏昌さん



質疑応答中 左から2番目が正木宏昌さん



懇親会でのけん玉大会 トップバッターは広島県

建築巡礼inまつやま～に決定し、秋田の全国大会に出場されることとなりました。

各県ともコロナ禍と向き合いながらも足踏みせず、地域、自治体、学校とのつながりを持ち続け、新たな発信を見出して空き家対策活動や子どもたちへの熱心な取り組みを実感しました。仲間と共に情熱を持ち学び合い活動されている皆さんに刺激を受けた報告会でした。

懇親会では、なんとホストの高知県建築士会メンバーによるバンドのライブがありアンコールが出たほどまだまだ聴きたい気持ちでした。また、各県代表によるけん玉大会もあり大変盛りあがりました。とても芸達者な皆さんに囲まれ楽しい時間を過ごしまだ余韻に浸っているところです。

■分科会の報告

分科会A「建築びと×食」

フードプロデューサーである大原一郎氏は、高知のいちご農家にケーキ屋を提案し、それまで捨てられていたB品、規格外品のいちごを採れたての完熟いちごケーキとして、ヒットさせることに成功しました。ファシリテーターの経営コンサルタントである小松一之氏が「商品づくりと建築が、同じ思い、目的をもって事業を進めないと成功しない」と、これまでのご自身の経験談を交えながらお話され、良い勉強になりました。

分科会B「建築びと×アウトドア」

現在はコロナ禍、予期せぬ災害、SDGSなど、ニューノーマルな時代、アウトドアが注目されています。そういう観点から、会場では高知の建築士が生み出した「ジラフユニット」の展示を兼ねた各ブースにて、アウトドアグッズ、防災グッズの展示紹介があり、色々な方と話ができました。「ジラフユニット」とは、高知県産木材ハギパネル1200×2400mmから作られる8のパーツが、平常時は内装材として、イベントや災害時には簡単に組み立てられ、ブースやベンチやベッドになるというもの。そのブースの組み立てをしたり、コーヒーの試飲もあったり、五感で楽しめるワイワイと賑やかな分科会でした。

分科会C「建築びと×組子」

以前より建具業者は、技術を業界に流出することを避けていたが、岩本大輔氏（土佐組子代表）は、組子の繊細さや美しさを保ったまま自由な発想力で、デザイン性だけでなく、耐力壁に利用できる組子や小物、インテリアにいたるまで、様々な商品開発に取り組んできました。実際に組子作りを体験しましたが、思った角度で組み合わせても組むことが難しく、割れやすいため、想像以上に繊細で細やかな作業だと実感しました。

組子という、素晴らしい日本の芸術を業界の枠を超えて普及させていこうという活動に感銘をうけました。

■エクスカーシオン参加報告

エクスカーシオンA「高知市市街地プラン」

オーテピア高知図書館は、高知県立図書館と高知市民図書館（本館）の2つが合築してできた図書館であり、日本一の森林県高知の中に建つ建物ということから、外観を一つの大樹として考えられたそうです。工期7年間という長期間の事業を設計士の方から直接お話を伺いました。

高知県自治会館は、1～3階がRC造、4～6階を外から見て明確に木造である事を感じさせるデザインになっており、現場見学では、木を使うことによる良い部分や悪い部分、不具合等の話もしていただき、たくさんのことを学ぶことができました。

エクスカーシオンB「ぶらっと赤岡」

地域実践活動の全国最優秀賞を受賞された「赤れんが商家」の再生のまちづくりをされている、「NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト」の活動のお話を伺いました。

その後、「あかおかるた」を手に3人ひと班に分かれ街歩きをし、江戸時代の芝居屏風絵や芝居小屋「弁天座」を見学しました。継続したまちづくり活動は素晴らしいものがあり、継続することで驚くほど多くのボランティアが関わり、「赤れんが商家」の再生工事を行っていました。これからも続くであろうこの活動を応援していきたいと思いました。

エクスカーシオンC「高知城散策」

高知城では、何班かに分かれて高知城の歴史や建物や石垣に隠された秘密や仕組みについて学びました。高知城は山内一豊が創建し、400年ほどの歴史があるお城で、石垣には当時、鉄がない時代での石垣の割り方の名残がある箇所や、積み方も様々な工法があるとのことでした。また、四国は降雨が多く、水が多く流れて水害に見舞われることもあるため、石樋を設けて城の外へ水を流せるように排水設備も工夫されていました。

物が無い時代の工夫や当時の技術・知恵に触れることができ、とても勉強になりました。

CPD 認定プログラム(7～8月の広島県内実施分)

2022年6月13日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
7/21	「電気設備の技術基準とその解釈」講習会	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
7/22	【第2回】労働安全衛生特別教育(低圧電気)講習会(広島会場) 7/22	8	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
7/26	第一種電気工事士定期講習(福山) 7/26	6	日建学院	03-3988-6201
7/26	【公共建築工事標準仕様書 令和4年版】【公共建築改修工事標準仕様書等 令和4年版】(建築工事編)講習会	5	公共建築協会	03-3523-0382
7/27	【公共建築工事標準仕様書 令和4年版】【公共建築改修工事標準仕様書等 令和4年版】(電気設備工事編)講習会	5	公共建築協会	03-3523-0382
7/28	【公共建築工事標準仕様書 令和4年版】【公共建築改修工事標準仕様書等 令和4年版】(機械設備工事編)講習会	5	公共建築協会	03-3523-0382
7/28	建設マネジメント力の向上～生産性向上を目指す～	6	インターウェーブ	099-812-0677
7/30	高圧ケーブル工事技能認定講習会【1日目】	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
7/31	高圧ケーブル工事技能認定講習会【2日目】	4	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
8/ 9	【第2回】労働安全衛生特別教育(高圧・特別高圧電気)講習会(1日目) 8/9	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
8/10	【第2回】労働安全衛生特別教育(高圧・特別高圧電気)講習会(2日目) 8/10	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
8/19	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
8/23	改修工事ここが知りたい技術セミナー「タイル剥離についての勉強会」	2	広島県建築士事務所協会	082-221-0600
8/24	既存住宅状況調査技術者講習(新規)	5	広島県建築士会	082-244-6830
8/25	内線規程講習会(広島会場) 8/25	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
8/26	太陽電池発電設備メンテナンス技術講習会 8/26	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
8/26	建設現場における心理活用コミュニケーションと業務効率化2022(後編)	6	インターウェーブ	099-812-0677
8/30	第一種電気工事士定期講習(広島) 8/30	6	日建学院	03-3988-6201
8/31	高圧受電設備規程講習会(1日目) 8/31	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237

3年ぶりの通常開催となった定時総会！

6月18日(土)にホテルセンチュリー 21広島において定時総会が開催されました。ここ2年新型コロナウイルス禍の中、感染拡大の防止と会員の皆様の健康を第一と考え、できるだけ委任状の活用をお願いすることとしていましたが、まだまだ終息はしていないものの、感染対策を適切に講じつつ、社会経済活動もしっかり進めていくという「withコロナ」を建築士会としても実践していく必要があると考え、顧問、来賓及び賛助会員の皆様にもご出席をいただき、通常で開催とさせていただきました。また、3年ぶりとなりました懇親会も着座によるマスク会食を徹底することで開催いたしました。定時総会では、次の議案についてご承認いただくことができました。

- 議案第1号 令和3年度収支決算の件
- 議案第2号 役員改選の件

特に今年度は2年に1度の役員改選の年にあたり、令和4、5年度の役員として次の方々を選任されました。今後の当士会の益々の発展のためご尽力をお願いいたします。感染状況にもよりますが、今後の士会の活動も「withコロナ」を実践することで徐々に日常を取り戻していけることを切に願うものです。



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、実現してきたデザインや技術は、現代に伝統として受け継がれています。竹中工務店は、その伝統を尊びながら、常に新しい価値や試みを取り入れ、革新的なデザインや技術を創り出すことを目指しています。人と自然が共に豊かにあるにはどうしたらいいのかが、未来の環境をつくる使命を持って新しい建築を世に送りだしていきたい。そして、10年後、20年後、100年後、その建物が新しい「伝統」になり、未来の建築家たちの礎になることを願っています。

「優良の作品を世に送り、社会に貢献する」竹中工務店は、この経営理念のもと、建築の可能性を追い求めていきます。

設計部 工 竹中工務店
竹中大工造建築 広島営業所(広島市)

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 本社：〒545-0053 大阪市中央区本町4-1-13 TEL:06-6262-1201 / 東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 TEL:03-6810-6000

【理事】 ○企画総務委員会推薦 相原 直樹 井手口耕三 井本 健一 浦山 豊隆 梶川 彰彦* 加藤 史隆 倉田まゆみ* 佐々岡由訓* 佐名田敬荘 高田 由美* 橋本 明美 濱井 義樹 三谷 隆之* 宮地 正人 家頭 昌子 幸 隆伸*	○地域担当理事推薦 〈広 島〉香川 寛治 舩盛 浩二 松本 浩一 栄花 彰子* 〈呉地区〉中野 敏己 篠部 裕 〈東広島〉光平 昌司 柳河 元木 〈三 原〉村上 浩一 今井 秀樹 〈尾 道〉半田 敦之 笠井 壮一*	〈福 山〉荒川 泰生 甲田 善久 竹内 貴子* 〈県 北〉竹中 哲成 廣田 昌治 【監事】 ○選挙管理委員会推薦 山口 邦良 二井 義博
	※新役員	

安全で安心な住まいづくりを
私たちがサポートします！



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

株式会社 広島建築住宅センター

業務内容

- 建築確認・検査
- 住宅性能評価
- フラット35
- 長期優良住宅
- 低炭素建築物
- 住宅かし担保責任保険
- 省エネ関連業務
- すまい給付金サポート
- リフォーム評価ナビ
- 地域型住宅グリーン化事業
- ベターリビングリフォーム審査業務

(株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
E-mail info@hkjc.co.jp

福山営業所

〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp

ホームページ <http://www.hkjc.co.jp>



上野誠治が利用している実務に役立つ平方メートルと坪の関係など

面積の400㎡は121坪(つば)となり、丁度数字の区切りが良いことを再認識しております。坪は、【尺貫法】による面積の単位です。明治の度量衡法(どりょうこうほう)で、400/121平方メートルと政府が定義されました。1坪は一辺が6尺モジュールの正方形の面積です。いわゆる畳2枚分(地域によって基準単位に違いあり…)です。

広島支部 一級建築士 上野 誠治

■【尺貫法】とは長さに尺(しゃく)、重さに貫(かん)、体積に升(ます)を基本単位とする度量衡法です

間、尺、寸は日本で古くから使われてきた基本的なサイズです。尺貫法は身体尺とも古くから言い伝えがあります。指のサイズからの基本で始まり1尺が約30cmという数値で、この倍数の180cmが建築寸法の1間=6尺=約1m82cm。人が余裕で寝ることが出来るサイズで、畳の辺長もここからきています。つまり人間一人がすっぽりはまるサイズです。間、尺、寸の単位は使われなくなりましたが、ところが、住宅設計では、尺貫法の単位寸法がメートル法に置き換えて存在していて、素晴らしい尺貫法の単位寸法であることが分かります。畳の時代が希薄になり、洋室が多くなってきていますが、畳サイズの影響で、いまでも尺モジュールが多く利用されています。メートルモジュールは100cm×100cmを1グリッドとする規格です。

■ まず平方メートルと坪の関係の面積確認をします

11間(けん)×11間=121坪／20m×20m=400平方メートル

■ 上記の坪数と平米数は同一面積です。つまり同じ広さです

皆さんはご存じかどうか知りませんが、もちろん、これに法的拘束力をかぶせているかどうかは別として、一つの定義です。(ここでは、その数値の歴史的背景については、色々な説がありますので、省きます。)丁度数字の区切りが良いので、覚えやすいと思います。では具体的に100㎡を坪に換算する場合には次の算式を利用します。換算率は121／400です。121坪÷400㎡=0.3025この0.3025の数値が坪あるいは㎡に換算する場合の基準となります。

■ 0.3025の数値を使って仮の数値で面積計算をしてみます

100㎡×0.3025=30.25坪です。逆の場合30.25坪÷0.3025=100㎡です。従って0.3025の数値を掛け算にするか割り算にするかで、坪数や㎡数が出ます。

■【尺貫法】の長さの読み方について

1間(けん)は6尺(しゃく)です。10尺ではありません。六十進法になっています。十進法ではありません。混同しないようにしましょう。／1尺は10寸(すん)です。ここから以下は十進法です。／1寸は10分(ぶ)です。／1分(ぶ)は10厘(りん)です。／1厘は10毛(もう)です。

■長さの「メートル」数値と「間」(けん)数値の実用関係です

まず6尺は1間で1.8181818...mが正確ですが、通常の建築物、特に木造に於いての端数は四捨五入されていて、1間=1.82mを多くの方が採用されています。半間の3尺ピッチは0.91mと端数がなくてやりやすいのですが、その1/2の1尺5寸=0.455mと端数のmmが出てしまい設計の時や大工さんが工事の時に面倒な事もあります。

■「間」と「メートル」の関係数値換算の根拠を出してみましょう

1メートル正方形の面積は1㎡で0.3025坪です。そこで、0.3025坪の数値を平方根(ルート)で開きますと、0.55の数値になります。従って0.55間は1mということが判明します。因って間をメートルに換算する場合には0.55の数値が基準となります。逆にメートルを間にする場合もこの数値が基準となります。割り算か掛け算の違いです。

■ 寸法の確認をします

10m×0.55=5.5間です。1間÷0.55=1.818181...mです。1尺は1間の6分の1で、何cm? 1尺÷6尺÷0.55=0.30303...mつまり30.303cmです。

家の木造の柱3寸5分(ぶ)は何cm? 0.35尺÷6尺÷0.55=0.106060m=10.60cmです。

1分は0.003030mつまり3.03mmです。
よく使われる柱の3寸3分は10cm丁度です。2階建ての角に使う通し柱は4寸が多いです。12cm1mmです。

3寸は0.3尺÷6÷0.55=0.090909...mです。
3分は0.03尺÷6÷0.55=0.0090909...mです。／合計すると0.10m／つまり10cm丁度です。「寸」と「分」を別けて計算しましたが、一度に計算します。0.33尺÷6÷0.55=0.1mで10cmです。

■ 寸法を出します

差矩(さしがね)をよく使います。曲尺(かねじゃく)ともいいます。直角を出したり、寸法を測ったりする工具です。大工さんが墨つばの墨差しを用いて墨付けをされます。一番よく使われているでしょう。

■ここまで尺貫法の数値について述べてきましたが、六十進法と十進法が混在していることに気が付きました。歴史的背景理由については、色々な説がありますので、省きます。ヒントとして、指の数も影響している様です

が、定かではありません。しかし、世界では色々な進法が存在している様です。

お客様から面積と距離について質問された場合、分かりやすく答える具体例

■ 平方メートル単位的面積について分かりやすくお答えします

平米(へいべい) 日本ではメートルを「米」と書きますから、「平方メートル」を略した発音で、日本語読みです。ある方は1坪を畳2枚と覚えておられます。

1平方cm=1cm×1cmの正方形の面積
1平方メートル／㎡=1m×1m=100cm×100cmの正方形の面積=0.3025坪

1アール=10m×10mの正方形の面積=100㎡=30.25坪
1ヘクタール=100m×100mの正方形の面積=1万㎡=100アール=3025坪

よく年配の方から1ヘクタールは3000坪だと、覚えておられます。3025坪は300坪が1反分ですから、10反分、つまり1町=3000坪と25坪が1ヘクタールです。

■ 尺貫法の単位面積について分かりやすくお答えします

1尺平方=0.008㎡
以下小数点第4位四捨五入
1坪=1歩(ぶ)=6尺平方=3.306㎡
1畝(せ)=30坪=99.174㎡
1反(たん)=10畝=991.736㎡
1町(ちょう)=10反=3000坪=9917.355㎡

■ 距離について分かりやすくお答えします

1町(ちょう)=60間=109.0909m 60間÷0.55=109.0909m
1里(り)=36町=≒3.927km 概ね4キロメートルです。
正確には4キロに72.72m足りないです。(1里=36町=2160間÷0.55=3927.2727メートル)

■ 私の備忘録

以上は研究論文とは異なりますが、私が日頃から要点を書き留めたものを自分の責任で簡潔に記録した、メモを紹介しました。参考になれば幸いです。 ■ 著作権者/上野誠治

■ メートル法になった経緯についての概要で、諸説が色々ありますので、参考程度です

メートル法は、18世紀末のフランスにおいて、世界で共通に使える統一された単位制度の確立を目指して制定された。日本のメートル法化は、1885年のメートル条約加盟と1891年の度量衡法公布により始まり、(旧)計量法により1959年(昭和34年)に完全実施された。従来の尺貫法に基づく単位も一部で慣例的に使われることがある。日本では、計量法により、1958年12月31日限り(土地と建物の計量については1966年3月31日限り)で取引や証明に尺貫法を用いることは禁止された。

尺貫法とは長さの基準を尺とし、質量の基準を貫とする日本古来の度量衡システムの総称。

この欄の参考文献 コトバンク他

■上野誠治の著作・論文その他(代表的なもの)
・『広島西飛行場存続の危機脱出変遷史』96.12.16 東洋図書出版著書
・『広島デルタを歩くリベラリスト』99.9.9 タニシ企画印刷著書
・『憔悴した点』01.1.31 愛知県土地家屋調査士会地図読み人第193号
・『調査士放談』10.11 広島県土地家屋調査士会[会報ひろしま]154号
・『日刊工業新聞』97.4.28 広島西飛行場の今後
・『被災地の早期復旧・復興を迅速に対応』第14140号 中建工報社
・『避難場所 専門家、業者ら協力体制も』第14324号 中建工報社
・『上野誠治が利用している実務に役立つ平方メートルと坪の関係など』
・『通勤災害』などについて

経歴
上野法務総合事務所／エスキース工房 創業43周年 2022年現在
代表 上野誠治 実務経験通算 50年
広島在住。広島県立広島国泰寺高等学校。法政大学卒。産業能率大学長上野一郎の下、能率学修める。大学院法学政治学研究科／地方自治法など履修
東京建築専門学校修了。日建学院建築学所定の全過程修了。日本法経専門学院修了
東京において、22歳時から不動産調査測量設計登記事務に従事。1979年から上野法務総合事務所。エスキース工房一級建築士、エスキース工房宅地建物取引事務所を開設している
登録資格：測量士 一級建築士 土地家屋調査士 宅地建物取引士 公認不動産コンサルティングマスター
所属団体：広島県建築士会 広島県土地家屋調査士会 広島県宅地建物取引業協会 公益財団法人不動産流通推進センター 広島商工会議所
趣味：カメラ／ページ作成／レコーディング(アナログデジタル変換)／読書

新築住宅

環境 ECO 対策

店舗デザイン

マンション修繕工事

賃貸マンションプロデュース

内外装リフォーム

電気事業

公共他工事

株式会社

新築工事から住宅リフォーム

マンション改修まで

お任せ下さい！

〒731-0135
広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL:082-238-1511 FAX:082-238-1513

ティーエス・ハマモト

検索



(株)ウッドワン

代表取締役社長 中本 祐昌

〒738-8502 廿日市市木材港南1-1
☎0829-32-3333
<https://www.woodone.co.jp/>

岸工業(株)

代表取締役会長 岸 昭文
代表取締役社長 岸 哲太郎

〒734-0023 広島市南区東雲本町2-15-7
☎082-282-1461
<https://www.kishikogyo.co.jp>

クマリフト(株)

代表取締役 熊谷 知哉

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-12-20
☎06-6445-6700
<https://www.kumalift.co.jp>

(株) KI works

代表取締役 井手口 耕三

〒733-0815 広島市西区己斐上2-69-16
☎082-881-1321
<http://www.kiworks.info>

(株)住研社

代表取締役 三浦 誠

〒731-5136 広島市佐伯区栄々園2-1-30
☎082-943-4550
www.hiroshimahatsukaichi.com/

イーイング・コーポレーション(株)

代表取締役 平岡 栄作

〒733-0037 広島市西区西観音町4-1
☎082-297-2022
<https://eing.co.jp>

江田島市都市整備課

市 長 明岳 周作

〒737-2297 江田島市大柿町大原505
☎0823-43-1647
<http://www.city.etajima.hiroshima.jp>

(有)キョウヤマ

代表取締役 三田 敏則

〒733-0012 広島市西区中広町2-14-21
☎082-532-3067
<http://kiyouyama.jp>

グラフィソフトジャパン(株)

代表取締役社長 トロム ペーテル

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-5-25
新大阪ダイビル6F
☎06-6838-3080
<https://graphisoft.com/jp>

坂町役場
建設部産業建設課

町 長 吉田 隆行

〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜1-1-1
☎082-820-1512
<http://www.town.saka.lg.jp>

(株)杉田三郎建築設計事務所

代表取締役 杉田 輝征

〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5
☎082-228-2345
<http://www.saburoshigita.com/>

井本建設(株)

代表取締役 井本 健一

〒737-0814 呉市山手1-1-33
☎0823-23-2506
<https://imoto-build.jp/>

大之木建設(株)

代表取締役社長 大之木 洋之介

〒737-8502 呉市中央3-12-4
☎0823-26-1523
<http://www.onoki.co.jp>

(株)共立

代表取締役 温井 賢治

〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16
☎082-246-4151
<https://www.kyoriz.co.jp>

ケイミュー(株)
広島営業所

所 長 辻本 恵一

〒730-0037 広島市中区中町7-1
☎082-245-0354
<http://www.kmew.co.jp/>

(株)ジェイ・イー・サポート

代表取締役 佐東 政明

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
☎082-836-3300
<https://www.jesupport.jp>

日建学院広島校
(株)セイブコーポレーション

代表取締役 仲西 毅

〒730-0016 広島市中区鞆町14-11
ウイング八丁堀ビル8F
☎082-223-2751
<http://www.ksknet.co.jp/>

(株)総合資格学院
広島支店

学院長 岸 隆司

〒730-0037 広島市中区中町7-35
和光中町ビル4F
☎082-542-3811
<http://www.shikaku.co.jp>

(株)ティーエス・ハマト

代表取締役 濱本 利寿

〒731-0135 広島市安佐南区長束4-16-2
☎082-238-1511
<http://www.ts-h.co.jp>

(株)長崎塗装店

代表取締役 長崎 邦彦

〒733-0036 広島市西区観音新町1-7-24
☎082-233-5600
<http://www.nagasaki-toso.co.jp>

日本住宅パネル工業(協)
西日本支所広島営業所

営業所長 木本 直樹

〒733-0841 広島市西区井口明神1-14-43
☎082-270-3700
<http://www.panekyo.or.jp>

(株)広島建築住宅センター

代表取締役社長 宮地 正人

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10-3F
☎082-228-2220
<http://www.hkjc.co.jp>

(株)ミヤジ

代表取締役社長 宮地 宏治

〒722-0051 尾道市東尾道9-10
☎0848-20-2111
<http://www.e-miyaji.com>

大成建設(株)
中国支店

執行役員支店長 吉野 雄一郎

〒730-0041 広島市中区小町2-37
☎082-242-5335
<http://www.taisei.co.jp>

TOTO (株)
中国支社

支社長 田中 徹

〒734-0014 広島市南区宇品西4-1-36
☎0570-03-7771
<https://jp.toto.com/>

(株)長沼電業社

代表取締役 長沼 毅

〒730-0036 広島市中区袋町6-14
☎082-248-2501
<http://www.naganuma.co.jp>

ハウスプラス中国住宅保証(株)

代表取締役社長 竹原 和司

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-3-32
☎082-545-5607
<http://www.jutakuhosho.com>

(株)マリモハウス

代表取締役 向井 芳典

〒733-0821 広島市西区庚午北2-16-4
☎082-500-8391
<https://www.marimohouse.co.jp/>

(有)元廣建築設計事務所

代表取締役 元廣 匡伸

〒722-0037 尾道市西御所町6-15
☎0848-23-5300
<http://motohiro-arc.com>

中国電力(株)
管財部門(建築)

部 長 阿比留 哲生

〒730-8701 広島市中区小町4-33
☎082-544-2519
<http://www.energia.co.jp>

ナイス(株)

中国ブロック 広島営業所 所長 大竹 泰弘

〒738-0034 廿日市市宮内六本松917-13-2F
☎0829-39-3333
<https://www.nice.co.jp/>

日本 ERI (株)
広島支店

支店長 石木 美都夫

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4-3F
☎082-211-5500
<http://www.j-eri.co.jp>

広島ガス(株)
家庭用エネルギー営業部

家庭用エネルギー営業部長 小迫 寿雄

〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1
☎082-252-3020
<http://www.hiroshima-gas.co.jp>

丸大食品(株)
広島営業所

所 長 多田 隆史

〒733-0035 広島市西区南観音6-11-32
☎082-293-2111
<http://www.marudai.jp/corporate/>



指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関(中国地方整備局長登録第3号)

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は迅速、的確な審査で、皆様の建物の安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330

ハウスプラス中国住宅保証株式会社
http://www.jutakuhosho.com/

**「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します**

■ 指定確認検査機関 ■ 指定構造計算適合性判定機関 ■ 登録住宅性能評価機関
■ 登録建築物エネルギー消費性能判定機関 ■ 適合証明業務(フラット35) ■ 長期使用構造等の確認業務
■ 住宅瑕疵担保責任保険業務 ■ 調査診断業務(違法性調査、定期報告等) ■ 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務
■ すまい給付金関連業務

12条点検は弊社におまかせください

 **株式会社 ジェイ・イー・サポート**

URL <https://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201
支店：東京 事務所：福岡
e-mail：mail@jesupport.jp